



地域に根差し、世界に開く

コラボ通信

第 34 号
2012 年 12 月 1 日



CCC(コミュニティ・コラボレーションセンター)は、学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々との出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かしたものにしていけるようにサポートしています。これまでに、多くの学生が CCC を通して、地域に飛び出し、NPO や市民団体、企業などと連携して共に活動しています。

CCCおすすめスポット

今回は、各キャンパスのおすすめスポットについて紹介したいと思います！

長久手

あなたの声で咲かせる木

CCC の入り口
にあるよー！



両キャンパス

クリスマスカードコーナー

チェルノブイリと福島の子供たちに
手作りカードの贈り物☆
子供たちからの返信も届きますので、
また CCC に見に来てくださ
いね(^-^)/

【カードの送り先】
NPO 法人 チェルノブイリ救援・中部



星が丘

星が丘 CCC のアルバム



長久手の CCC の入り口(正門側)に大きな木があります～！
ここには葉っぱやお花の形の紙が置いてあるので、活動して
感じたことや、ふと思ったことなどをぜひ書いて貼ってくだ
さいね(^-*)

星が丘の CCC には、たくさんのボランティアの活動写
真が壁一面に貼ってあります～！特に入口には、年代ご
とに写真が貼ってあり、一目で星が丘 CCC の歴史をた
どることができます！ぜひ、見てみてください♪



チャレンジファンド
2012 認定団体
Messenger

ボランティア活動報告

ビジネス学科 3年 藤田 華奈江 さん

Messenger とは、本を通じて子供たち同士の交流を目的として立ち上げた団体です。きっかけは、私自身が本を読むことが好きというほんの些細な理由でした。活字離れが問題とされている中、子どもたち同士が本を通して交流できるような活動がしたいと考えたことが始まりです。

そこから 1 年。結果として、星ヶ丘小学校の子どもたちと福島第四小学校の子どもたちとの本を通じた交流の懸け橋になることができました。

星ヶ丘小学校には、5 年生の皆さんに自分のお気に入りの本を紹介していただきました。紹介していただく方法として、先生方の助言をお借りして、その本の帯やブックカバーなどを手作りしていただきました。一人一人が一生懸命になって作ってくれました。

福島第四小学校には、本の受取先になっていただきました。星ヶ丘小学校 5 年生の皆さんが選んでくれた本と、手作りのブックカバーや帯を、私たち Messenger が福島県まで直接届けに行かせていただきました。その時、全校集会を開いていただき、代表の子どもたちに直接手渡しをする、という貴重な体験をさせていただきました。その後、福島第四小学校の皆さんから、私たち淑徳生宛と、星ヶ丘小学校の皆さん宛てに、お礼のお手紙をいただきました。

こうして私たち Messenger は、子どもたち同士の懸け橋になることができました。些細なきっかけで始まったこの企画ですが、1 年を通して多くの方との交流をさせていただき、貴重な経験になりました。福島の子どもたちから頂いたお手紙には「この本を読んで面白かった」「他の子にも紹介してあげたい」という感想が書かれていました。子どもたちにこんな気持ちを持ってもらえたことが何よりの成果だと思っています。

Messenger は、今年始めたばかりの企画です。今後も活動が続けたいと考えています。そこで、私たちと一緒に活動してくれる人を募集しています。本が好きな人、子どもが好きな人、少しでもこの企画に興味を持った人がいたらぜひ一緒に活動しませんか？一緒に Message を届けましょう!!



Letter from the Community

星ヶ丘小学校 教務主任 丹羽 進 様より

本校 5 年生の子どもたちが、福島に本を送る活動に、紹介の文を添える形で参加させていただきました。子どもたちなりに様々な工夫を凝らした紹介に対して、相手校からも丁寧なお礼の言葉をいただきました。「為した喜び」「感謝される幸福感」というのは、なかなか味わわせる機会を作ることが難しく、とてもよい機会を与えていただいたと感謝しております。

ボランティア活動への助言ということですが、本年度、本校では「思いや考えを伝える力」の育成に重点を置いております。見知らぬ人へ思いを伝える活動は、教育効果の期待される活動であり、その意味でも、今回の取り組みはタイムリーでした。このように、一方が他方のためだけに終わらない活動こそが、より深まりのある取り組みにつながっていくのではないかと感じています。



CCC を卒業してから・・・

Vol.4 柴田督史さん（現代社会学部現代社会学科 フィールドスタディコース 2008 年度卒業）

・現在の職業はなんですか？

ポンプメーカーで営業をしています。忙しい時や辛い時もたくさんありますが、東京というビジネスの中心で仕事ができていることに感謝して日々の仕事に邁進しています。今は国内営業ですが、今後は海外で海水の淡水化などで使うポンプの営業をしたいと思っています。

・学生時代はどのような活動をしていましたか？

初めて行ったボランティアは地域の小学生と遊ぶ。ただ、それだけでした。でも、今振り返るとその体験から自分が変わった気がしています。学外のイベントに参加したり、CCC の学生スタッフをしたりして積極的に様々な人と関わるようになりました。今でも仕事とは別でチャリティー団体に所属し、公私のバランスを取りながら日々の生活を楽しんでいます。

・学生へ一言☆

人は皆、それぞれ違った人生を歩んでいます。違った特技を持ち、違った思い出があり、違った価値観を持っています。一步一步の歩幅も違います。人と比較しないで、自分の一步を信じて、自分の幸せを見つけてください！変化を恐れず、挑戦してみましょう。



写真：出張帰りに CCC に遊びに来てくれました！

学生 Staff

Report

CCCを通して地域で活動する学生団体に、団体の紹介をしてもらいました！

学生団体紹介

～2012後期～

こめ☆こめくらぶ

私たちは、長久手市の農家さんに田んぼをお借りし、有機農法で稲作を行い、収穫したお米を使ってワークショップなどの食育活動をしています。また祭りに参加したり、もちつき大会などのイベントも行っています。

お米ができるまでには色々な作業があり、正直大変だな、と思う時もあります。その一方で、私たちが食べている物には沢山の人の想いが詰まっていることに気づけます。”自然”、”人”、”食”が交差するのが、私たちの活動の魅力です。現在、毎週水曜日に星が丘の CCC にて、ランチミーティングをしています。長久手ではイベントごとの不定期実施のため、スタッフさんにお尋ね下さい。興味をもたれた方は、ぜひミーティングにご参加下さい♪お待ちしております！



介助犬

介助犬をご存知ですか？

介助犬というのは、手や足の不自由な方の生活をお手伝いする犬のことです。

必要としている人が 1500 人以上いると言われていたのに対して、現在実際に活動をしている数は 61 頭(H24.11.1)と、少ないのが現状です。またせっかく生活を共にできるようになってもレストランや、スーパーなどで「盲導犬ならいいけど、介助犬はちょっと。」と言って入店を拒否されたという体験をされた人もいます。

もっと多くの人に介助犬のことを知ってもらえたら、使用者さんがもっと自由にお出かけ出来るようになるのではないかと、そのために私たちが出来ることはなんだろうか？と考え、この活動を始めました。

といっても、介助犬を知った本当のきっかけは、犬が好きで犬がたくさん集まるイベントのお手伝いをしたことでした。

興味をもたれましたら、ぜひミーティングにご参加ください☆



☆編集後記☆

皆さん2012年も終わりですね。一年早～い！これまでボランティアをやれた人・やれなかった人など様々なと思います。大学での四年間は長いようで短いです。2013年、何かやりたいという気持ちがある人はまず行動してください。行動しないと何も変わらない。行動しないと2013年もすぐにおわっちゃうよー！2013年が皆さんの人生にとって重要な年になることを願っています。(交流文化学科3年CCC学生スタッフ 永草修司)

	長久手	星が丘
利用時間	9:00～18:30（授業日以外 9:00～17:00）	
場所	11 号棟 1 階	5 号館 1 階
連絡先	0561-62-4111(代)	052-781-1151(代)
e-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	
http://www.aasa.ac.jp/institution/ccc/index.html		